Noism Company Niigata 2025 冬公演

Noism0＋Noism1

『マレビトの歌』

野外劇場での初演を経て、利賀、スロベニアへ。
巡演を重ね、新たな演出で劇場空間に帰ってくる。

Noism0＋Noism1『マレビトの歌』演出振付：金森穣

新潟公演　2025 年 12 月 5 日（金）～7 日（日）りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館〈劇場〉

埼玉公演　2025 年 12 月 20 日（土）～21 日（日）彩の国さいたま芸術劇場〈大ホール〉

主催：公益財団法人新潟市芸術文化振興財団

共催：公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団（埼玉公演）

製作：りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館

助成：文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）｜独立行政法人日本芸術文化振興会

[この事業は新潟市からの補助金の交付を受けて実施しています]

お問い合わせ

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館

舞踊企画課：坂内佳子　Noism 制作担当：上杉晴香　広報担当：深作理那

〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町 3-2

TEL: 025-224-5627（10:00-18:00 / 休館日除く）　FAX: 025-224-5626　E-mail: info-noism@ryutopia.or.jp

Noism オフィシャルウェブサイト　www.noism.jp　Noism　@NoismPR　noism_official　NoismPR

Noism0＋Noism1　『マレビトの歌』

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館の専属舞踊団である Noism Company Niigata（ノイズム・カンパニー・ニイガタ）。設立から 20 年以上を経た今も、日本で唯一の公共劇場専属舞踊団として、国内はもちろん世界各地からオーディションで選ばれた舞踊家が新潟に移住し、年間を通して活動しています。
2025 年冬の公演は、金森穣演出振付『マレビトの歌』を上演します。

「黒部シアター2023 春」の企画で、Noism 初の野外公演として創作した本作品は、演劇の聖地・利賀村で開催の「SCOT サマー・シーズン 2025」、さらにスロベニアとイタリアで国境をまたいで開催の「Visavì Gorizia Dance Festival（ヴィザヴィ・ゴリツィア・ダンス・フェスティバル）」の 2 つの国際的フェスティバルから招聘を受け、利賀の合掌造りの劇場およびスロベニア国立劇場 / ノヴァ・ゴリツァ（SNG Nova Gorica）にて上演。これらを経て、Noism の本拠地・新潟と埼玉の 2 ヶ所で凱旋公演を行います。

『セレネ、あるいはマレビトの歌』(2023 年)
写真提供：黒部舞台芸術鑑賞会実行委員会

演出振付の金森穣が近年取り組んできた“個と集団”、“彼岸と此岸”といったテーマを軸に、現代における異質な存在「マレビト」の概念に着想を得て構成された本作。劇場空間に、新たな幕が上がります。

■公演概要

『マレビトの歌』

演出振付：金森穣
音楽：アルヴォ・ペルト
衣裳：堂本教子、山田志麻
出演：Noism0、Noism1
舞台監督：夏目雅也
照明：伊藤雅一（RYU）
音響：佐藤禎

■公演によせて

Noism　国際活動部門芸術監督　井関佐和子

Noism22 年目の冬公演では、『マレビトの歌』を上演いたします。
本作は、2023 年に黒部シアターにて初演された作品の改訂版です。

初演版は Noism にとっては初めての野外劇場での創作であり、環境や予算など多くの制約がある中での挑戦となりました。演出振付家の金森からは、「美術や衣裳などで何かを語るのではなく、そこに在る“身体”のみで勝負する」という方針が舞踊家たちに伝えられ、その言葉が覚悟を定めるきっかけとなりました。

自然とは、何かをしようとするのでも、しないようにするのでもなく、ただ“在る”という「無」の状態。その圧倒的なエネルギーは、私たちが通常の状態では到底対峙できるものではありませんでした。
その自然の力を、集団として感じ、乗り越えたこの初演は大成功を収めました。金森自身も、初演当時に「第 2 の『NINA』* ができた」と語っています。

Noism の初期代表作である『NINA―物質化する生け贄』も、身体の本質と向き合うことで生まれた作品ですが、あれから年月を経て、多くの経験を重ねた上で生まれた本作『マレビトの歌』は、「身体と向き合う」というシンプルな問いから始まり、「身体を通して人間と向き合う」という、より根源的な問いへと発展しました。

本作は、野外劇場という天と地をリアルに感じられる空間から、利賀村・新利賀山房という閉じられた、しかし心に宇宙のような広がりをもたらす日本家屋の舞台へと移りました。さらに、その後は日本を離れ、スロベニアという異国の地での上演へと至ります。
空間や場所が変われば、舞踊家の身体もまた必ず変容します。同じ作品を上演しているようであっても、空間に身体が住み着き、新たな精神がそこに宿るのです。

この変化を、集団として経験することで、新たな Noism の魅力を感じていただけると確信し、このたびの凱旋公演を決定いたしました。

*→『NINA―物質化する生け贄』　（演出振付：金森穣.2005）これまでに 8 か国 23 都市で上演を重ねる。

井関佐和子　Sawako ISEKI

舞踊家。Noism Company Niigata 国際活動部門芸術監督。
1978 年高知県生まれ。3 歳よりクラシックバレエを一の宮咲子に師事。16 歳で渡欧。スイス・チューリッヒ国立バレエ学校を経て、ルードラ・ベジャール・ローザンヌにてモーリス・ベジャールらに師事。98 年ネザーランド・ダンス・シアターⅡ（オランダ）に入団、イリ・キリアン、オハッド・ナハリン、ポール・ライトフット等の作品を踊る。01 年クルベルグ・バレエ（スウェーデン）に移籍、マッツ・エック、ヨハン・インガー等の作品を踊る。04 年 4 月 Noism 結成メンバーとなり、金森穣作品においては常に主要なパートを務め、日本を代表する舞踊家のひとりとして、各方面から高い評価と注目を集めている。08 年よりバレエミストレス、10 年より Noism 副芸術監督を務める。22 年 9 月より Noism Company Niigata 国際活動部門芸術監督。第 38 回ニムラ舞踊賞、令和 2 年度（第 71 回）芸術選奨文部科学大臣賞受賞。 𝕏 @sawakoiseki

撮影：松崎典樹

■演出ノート

『マレビトの歌』　　演出振付　金森穣

この冬は、２年前の春に黒部市・前沢ガーデンで発表した『セレネ、あるいはマレビトの歌』を改訂し、『マレビトの歌』として発表する。タイトルからセレネを外した理由は、その名がギリシャ神話における月の女神の名称であり、今回は月が見下ろす緑の芝の野外ステージから場所を移し、暗い洞窟を模した劇場舞台で上演されること、そして改訂に伴ってマレビトというキーワードに焦点を絞るためである。

Noism の近年代表作である『Fratres Ⅰ』を含有する本作は、“個と集団”、“彼岸と此岸”というここ数年の私の創作テーマがマレビトという謎の存在を介し、異端を巡る儀式として展開する。マレビトとは民俗学者の折口信夫によって提唱された、この国の民俗学（信仰）上の重要な概念であり、時を定めて他界から訪れる霊的なナニモノカである。私たちの判断や行動に影響を及ぼすナニモノカ。

ある場所に、ある集団に、そしてある文化に長らく属していると、無意識に醸成されていくものがある。それは風土への理解を深め、文化を生み出し、精神を形作ってゆくけれど、それは同時に批判性を失い、形骸化した慣習を生み出し、時代の流れに身を任せることでしか立つことのできない、精神の弛緩を生み出す危険性も孕んでいる。

マレビトが、場所／集団／文化の外部から、アウトサイダーとして訪れることに惹かれる。しかもそれが目には見えないナニモノカとして訪れることに強く惹かれる。それは急速に閉塞し、排他的になっていく国際社会に対する抵抗、あるいは視覚情報への依存度が増し、私たちの身体が宿す目には見えない力までをも数値化（視覚化）できると思い込んでいる、現代人への警鐘となると思うからである。マレビトを召喚し、その歌声に耳を澄ますこと。それはこの身体の深奥に宿る声に耳を澄ますことである。

金森穣　Jo KANAMORI

演出振付家、舞踊家。Noism Company Niigata 芸術総監督。
17 歳で単身渡欧、モーリス・ベジャール等に師事。ルードラ在学中から創作を始め、NDT2 在籍中に 20 歳で演出振付家デビュー。10 年間欧州の舞踊団で舞踊家、演出振付家として活躍したのち帰国。2004 年 4 月、りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館舞踊部門芸術監督に就任し、日本初の劇場専属舞踊団 Noism を立ち上げる。サイトウ・キネン・フェスティバル松本での小澤征爾指揮によるオペラの演出振付を行う等、幅広く活動している。平成 19 年度芸術選奨文部科学大臣賞、平成 20 年度新潟日報文化賞、第 60 回毎日芸術賞、第 42 回橘秋子賞ほか受賞歴多数。令和 3 年紫綬褒章。　www.jokanamori.com　𝕏@jokanamori

撮影：篠山紀信

■Profile

Noism Company Niigata（ノイズム･カンパニー･ニイガタ）　www.noism.jp

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館を拠点に活動する、日本初の公共劇場専属舞踊団。芸術総監督は金森穣。プロフェッショナル選抜メンバーによる Noism0（ノイズムゼロ）、プロフェッショナルカンパニーNoism1（ノイズムワン）、研修生カンパニーNoism2（ノイズムツー）の 3 つの集団があり、国内・世界各地からオーディションで選ばれた舞踊家が新潟に移住し、年間を通して活動。2004 年の設立以来、りゅーとぴあで創った作品を国内外で上演し、新潟から世界に向けてグローバルに活動（国際活動部門）を展開するとともに、市民のためのオープンクラス、学校へのアウトリーチをはじめとした地域に根ざした活動（地域活動部門）を行っている。Noism の由来は「no-ism＝無主義」。特定の主義を持たず、歴史上蓄積されてきた様々な身体知を用いて、あらゆる ism を再検証することで、今この時代に新たな舞踊芸術を創造することを志している。

22nd（2025 / 2026）シーズンメンバー
芸術総監督 / Noism0=金森穣
国際活動部門芸術監督 / Noism0＝井関佐和子
地域活動部門芸術監督 / Noism0＝山田勇気
Noism1＝中尾洸太、庄島さくら、庄島すみれ、坪田光、樋浦瞳、糸川祐希、太田菜月、兼述育見、松永樹志、春木有紗
準メンバー＝江川瑞菜、与儀直希、高田季歩
Noism2 リハーサル監督=浅海侑加
Noism2＝四位初音、沖田風子、鈴木彩水、平尾玲、大﨑健太郎

金森穣

井関佐和子

山田勇気

中尾洸太

庄島さくら

庄島すみれ

坪田光

樋浦瞳

糸川祐希

太田菜月

兼述育見

松永樹志

春木有紗

準メンバー
江川瑞菜

準メンバー
与儀直希

準メンバー
高田季歩

撮影：篠山紀信（金森穣）

撮影:松崎典樹（井関佐和子・山田勇気・Noism1）

新潟公演

2025 年 12 月 5 日（金）19:00、6 日（土）17:00★、7 日（日）15:00 ※全 3 回

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館〈劇場〉

★12 月 6 日（土）終演後アフタートークあり（約 30 分間）
＊ご来場の皆さんからの質問にお答えします。
＊新潟公演のチケットをお持ちの方であれば、別日程でもトークのみのご参加も可能です。

入場料（税込）：全席指定 5,500 円　U25 3,000 円　高校生以下 1,000 円
＊未就学児の入場はご遠慮いただいております。
＊U25 は公演時 25 歳以下の方対象（未就学児を除く）。
U25・高校生以下の方は入場時に身分証をご提示ください。
＊託児サービス、車椅子席等の詳細はりゅーとぴあ HP をご覧ください。

取扱い：**りゅーとぴあ**（オンライン・電話・窓口）
▶オンライン・チケット　https://piagettii.s2.e-get.jp/ryutopia/pt/　[発売初日 11:00-]
▶電話　025-224-5521（11:00-19:00 / 休館日除く）　[発売初日 11:00-]
▶窓口（りゅーとぴあ 2 階）　[発売初日（会員先行・一般発売ともに）取扱いなし]
会員および一般発売初日は、インターネットと電話予約に限定させていただきます。
残席があった場合、翌営業日 11:00 より窓口にて取り扱います。

発売日：10 月 16 日（木）りゅーとぴあ会員先行　10 月 18 日（土）一般発売

問合せ：りゅーとぴあチケット専用ダイヤル 025-224-5521（11:00-19:00 / 休館日除く）

公演詳細：https://noism.jp/noism0-1_marebito/

私たちは Noism Company Niigata の活動を応援しています。

HARADA DENTAL CLINIC、atelier rinto、キザシオ、DASH SPORTS MASSAGE　他 1 社

埼玉公演

2025 年 12 月 20 日（土）15:00、21 日（日）15:00 ※全 2 回

彩の国さいたま芸術劇場〈大ホール〉

入場料（税込）：全席指定 6,000 円　U25 3,000 円

＊未就学児の入場はご遠慮いただいております。

＊サイドバルコニー、2 階席の一部は舞台の一部が見えづらいお席です。

＊U25 は公演時 25 歳以下の方対象（未就学児を除く）。
U25 の方は入場時に身分証をご提示ください。

＊車椅子でのご来場の方は購入時に SAF チケットセンターにお問い合わせください。

＊本公演での託児サービスはございません。

取扱い：**SAF チケットセンター**（オンライン・電話・窓口）※埼玉公演のみ

▶SAF オンラインチケット　https://www.saf.or.jp/t/［発売初日 10:00-］

▶電話 0570-064-939（10:00-18:00 / 劇場休館日除く）

▶窓口　彩の国さいたま芸術劇場（10:00-18:00 / 休館日除く）
埼玉会館（10:00-18:00 / 休館日除く）

りゅーとぴあ（オンライン・電話・窓口）

▶オンライン・チケット　https://piagettii.s2.e-get.jp/ryutopia/pt/　[発売初日 11:00-]

▶電話　025-224-5521（11:00-19:00 / 休館日除く）　[発売初日 11:00-]

▶窓口（りゅーとぴあ 2 階）　[発売初日取扱いなし]

一般発売初日は、インターネットと電話予約に限定させていただきます。

残席があった場合、翌営業日 11:00 より窓口にて取り扱います。

発売日：10 月 16 日（木）SAF メンバーズ先行　10 月 18 日（土）一般発売

※埼玉公演のりゅーとぴあ取扱い分の発売はりゅーとぴあ会員・一般共に 10 月 18 日（土）

問合せ：SAF チケットセンター0570-064-939（10:00-18:00 / 劇場休館日除く）

主催：公益財団法人新潟市芸術文化振興財団

共催：公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団（埼玉公演）

製作：りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館

助成：文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）｜独立行政法人日本芸術文化振興会

[この事業は新潟市からの補助金の交付を受けて実施しています]